

Readings

וּמִלְבַּיִתְךָ מִלֵּךְ שֶׁלֹּא הוֹצִיאָהּ לְךָ וְהָיָה כִּהְיוֹתְךָ לְאֵל עֲלִיּוֹן Gen 14:18

וַיְבָרְכֵהוּ וַיֹּאמֶר בְּרִיךְ אֱבָרָךְ לְאֵל עֲלִיּוֹן כִּי הָיָה שָׁמַיִם וְאָרֶץ Gen 14:19

אֵל עֲלִיּוֹן אֲשֶׁר-מִגַּן צָרָף בְּיַדְּךָ וַיִּתֵּן-לְךָ מִשְׁשָׁר מִכָּל Gen 14:20

1 Cor 11:23 Ἐγὼ γὰρ παρέλαβον ἀπὸ τοῦ κυρίου, ὃ καὶ παρέδωκα ὑμῖν, ὅτι ὁ κύριος Ἰησοῦς ἐν τῇ νυκτὶ ἧ̄ παρεδίδοτο ἔλαβεν ἄρτον

1 Cor 11:24 καὶ εὐχαριστήσας ἔκλασεν καὶ εἶπεν· τοῦτό μου ἐστὶν τὸ σῶμα τὸ ὑπὲρ ὑμῶν· τοῦτο ποιεῖτε εἰς τὴν ἐμὴν ἀνάμνησιν.

1 Cor 11:25 ὡσαύτως καὶ τὸ ποτήριον μετὰ τὸ δειπνῆσαι λέγων· τοῦτο τὸ ποτήριον ἡ καινὴ διαθήκη ἐστὶν ἐν τῷ ἐμῷ αἵματι· τοῦτο ποιεῖτε, ὡσάκις ἐὰν πίνητε, εἰς τὴν ἐμὴν ἀνάμνησιν.

1 Cor 11:26 ὡσάκις γὰρ ἐὰν ἐσθίητε τὸν ἄρτον τοῦτον καὶ τὸ ποτήριον πίνητε, τὸν θάνατον τοῦ κυρίου καταγγέλλετε ἄχρι οὗ ἔλθῃ.

Luke 9:11 οἱ δὲ ὄχλοι γνόντες ἠκολούθησαν αὐτῷ· καὶ ἀποδεξάμενος αὐτοὺς ἐλάλει αὐτοῖς περὶ τῆς βασιλείας τοῦ θεοῦ, καὶ τοὺς χρεῖαν ἔχοντας θεραπείας ἰᾶτο.

Luke 9:12 Ἡ δὲ ἡμέρα ἤρξατο κλίνειν· προσελθόντες δὲ οἱ δώδεκα εἶπαν αὐτῷ· ἀπόλυσον τὸν ὄχλον, ἵνα πορευθέντες εἰς τὰς κύκλω κώμας καὶ ἀγροὺς καταλύσωσιν καὶ εὕρωσιν ἐπισιτισμόν, ὅτι ᾧδε ἐν ἐρήμῳ τόπω ἐσμέν.

Luke 9:13 εἶπεν δὲ πρὸς αὐτούς· δότε αὐτοῖς ὑμεῖς φαγεῖν. οἱ δὲ εἶπαν· οὐκ εἰσὶν ἡμῖν πλεῖον ἢ ἄρτοι πέντε καὶ ἰχθύες δύο, εἰ μὴτι πορευθέντες ἡμεῖς ἀγοράσωμεν εἰς πάντα τὸν λαὸν τοῦτον βρώματα.

Luke 9:14 ἦσαν γὰρ ὡσεὶ ἄνδρες πεντακισχίλιοι. εἶπεν δὲ πρὸς τοὺς μαθητὰς αὐτοῦ· κατακλίνατε αὐτοὺς κλισίας [ὡσεὶ] ἀνὰ πεντήκοντα.

Luke 9:15 καὶ ἐποίησαν οὕτως καὶ κατέκλιναν ἅπαντας.

Luke 9:16 λαβῶν δὲ τοὺς πέντε ἄρτους καὶ τοὺς δύο ἰχθύας ἀναβλέψας εἰς τὸν οὐρανὸν εὐλόγησεν αὐτοὺς καὶ κατέκλασεν καὶ ἐδίδου τοῖς μαθηταῖς παραθεῖναι τῷ ὄχλῳ.

Luke 9:17 καὶ ἔφαγον καὶ ἐχορτάσθησαν πάντες, καὶ ἦρθῃ τὸ περισσεῦσαν αὐτοῖς κλασμάτων κόφινοι δώδεκα.

Comments

- ・ 今日にはキリストの聖体の祝日である。聖体の理解をめぐる正教とカトリックから、プロテスタントは近代以降分かれていく。つまり、正教もカトリックも聖別されたパン(ホスチア)はキリストの体であるという信仰を堅持するが、これをプロテスタントは認めないのである¹。ここでは、聖体は宗派の袂を分かつために制定されたわけではないので、われわれはキリストの聖体の理解をさらに深めたい。今日の朗読配分はこの聖体の理解を助けるように配分している。第一朗読では創世記の大祭司であり王であるメルキゼデク(cf. 詩編110:4, ヘブ7:1)の記事が選ばれている。アブラムがカナン地方の悪王たちを打ち破った記事の中で、名前自体が王を表す大祭司・メルキゼデクが登場し、アブラムにパンと葡萄酒を持ってきて祝福している。メルキゼデクが持ってきたパンと葡萄酒は、ずっと後代のキリスト教グループから見れば聖体を思い起こさせるが、アブラムの時代には当然ながら何の関係もない。これらは当時の日常の食事を表現していたようだ(cf. 士19:19)。それよりも直訳すると「義なる王 מַלְכֵי צֶדֶק マルキーツェデック」意味するメルキゼデクが、パンとぶどう酒を祝福する祭司であり、統治していた場所が、当時エブス人の町「サレム」と呼ばれていたエルサレムだったことが朗読箇所から読み取れる。これらの重要な情報がそのまま答唱詩編に受け継がれ、詩篇110はダビデの王座を記念しながら、その王権がエルサレムにある根拠が、メルキゼデクに基づくと主張している。
- ・ これらを背景にした福音朗読を見てみよう。イエスが五千人に食べ物を与える供食奇跡が取られている。大勢の群衆を前にして弟子たちは自分たちは宿や食事を捜す面倒を見切れないとイエスに苦情を申し立てる。場所に注意すると、ダビデの王座の子孫であり、このエルサレムにメシア王として現れるイエスのはずであるが、舞台設定は宗教都市エルサレムの神殿ではなく、北部地方のガリラヤ湖ベトサイダ付近である。そこでイエスは五つのパンと2匹の魚をとって天を仰いで賛美を唱え、裂いて弟子たちに渡して群衆に配らせたと報告されている。まず、ルカは「パンが増えた」という表現を慎重に避けたことに注意したい。パンの数の増加自体が問題であれば、それは魔術になってイエスにそぐわない。「弟子たちに渡しては群衆に配らせた」と新共同訳は訳しているが、この箇所を直訳に近く試訳すれば、「群衆に配るために弟子たちに与えつづけた」となる。ここでは διδωμι 「与える」の過去形、すなわち過去に終了した動作「与えた」ではなく、いままも完了せずに継続している表現である未完了形 ἐδίδου 「与え続けられている」が使われている。パンが増えたことよりも、イエスが現在に至るまでパンを与え続けていることをルカが表現したことに留意したい。次に、このパンは尽きることがなくなったのだろうか。直前に、イエスが「天を仰いで、賛美の祈りを唱え ἀναβλέψας εἰς τὸν οὐρανὸν εὐλόγησεν αὐτούς」たと記されている。この「賛美の祈りを唱え εὐλόγησεν」は直訳すると「祝福した」であるが、それはエルサレム神殿でパンを祝福する祭司とイエスが重なる。つまり神殿祭儀で献げ物のパンを祭司が祝福することで聖とされたように(cf. レビ2:8)、イエスのみことばによってパンと魚は祝福されて聖となったということである²。ここで読者は神殿祭儀がガリラヤの野原に出現していることに気づかされる。聖別された聖体をいただいた人々によってみことばは受けとめられ、そして人々はみことばをこの世界のすみずみへと運ぶ器となる。

¹ 第二朗読1コリント11:24-25は聖体制定句と呼ばれ、τοῦτό μου ἐστὶν τὸ σῶμα τὸ ὑπὲρ ὑμῶν(24節)をイエスのからだそのものであるという(trans substatio)立場でカトリックは取っている。プロテスタントはパンが肉体に変わらず(non transsubstatio)、特にカルヴァン派(長老派)は神はどこにでも存在(omni presentio)するという立場をとる。この聖体理解の相違は16世紀の宗教改革を引き起こす一因となり、カトリックはトレント公会議(1545-)で、"anatema sit"「排斥される」(トレント公会議第13総会、DZ 1547-1661)という表現を使ってプロテスタントを強く否定した。なお、第二ヴァチカン公会議(1963)ではプロテスタントと区別をするための聖体理解はされていない。

² H.デンツィンガー 編、A.シェーンメッツァー 増補改訂、浜寛五郎 訳、『カトリック教会文書資料集：信経および信仰と道徳に関する定義集』、エンデルレ書店、1974. #1640. p.289.